

共生のための障害の哲学
身体・語り・共同性をめぐって

Philosophy of Disability & Coexistence :
Body, Narrative, and Community

石原孝二・稲原美苗 編

edited by Kohji Ishihara and Minae Inahara

WZCP-Uehiro Booklet 2

共生のための障害の哲学
身体・語り・共同性をめぐって

**Philosophy of Disability & Coexistence:
Body, Narrative, and Community**

共生のための障害の哲学
身体・語り・共同性をめぐって

**Philosophy of Disability & Coexistence :
Body, Narrative, and Community**

石原孝二・稲原美苗 編

edited by Kohji Ishihara and Minae Inahara

はじめに

石原孝二

論文

1. 障害とアブジェクション—「受容」と「拒絶」の狭間
稲原美苗 _____ 11
2. アシュリー事件に見る他者知覚と同一化
宮原 優 _____ 27
3. 私の身体はどこまで私のものか—代理出産をめぐる問題から考える身体のあり方—
齋藤 瞳 _____ 43
4. ト라우マと文学—女性たちが語りはじめる
岩川ありさ _____ 59
5. イスラームにおける障害の表現
小村優太 _____ 73
6. 共生のための障害の倫理学と実験倫理学—直観の地位を巡って—
飯島和樹 _____ 89
7. 精神病理学から当事者研究へ
—現象学的実践としての当事者研究と〈現象学的共同体〉—
石原孝二 _____ 115

8. Between Two Worlds: A Phenomenological Critique of the Medical and Social Models of Disability Michael Gillan Peckitt, Minae Inahara, and Jonathan Cole	139
---	-----

当事者研究

1. 受け取る名づけから生み出す名づけへ——「額縁問題」の研究を例に 水谷みつる	157
---	-----

国際会議「障害学と当事者研究」より

1. 韓国における精神障害者による当事者研究の現状 金大煥 著、文景楠 訳	175
2. 今はリフォーム中…… 金洛佑 著、文景楠 訳	183

翻訳

1. エナクティブな間主観性—参加的意味創造と相互編入 トーマス・フックス、ハンネ・デ・イエーガー 著、田中彰吾 訳	193
---	-----

著者・翻訳者一覧（執筆順）

石原孝二（東京大学大学院総合文化研究科准教授）

稲原美苗（大阪大学大学院文学研究科助教）

宮原 優（いわき明星大学非常勤講師）

齋藤 瞳（日本大学通信教育部非常勤講師）

岩川ありさ（日本学術振興会特別研究員 DC 東京大学）

小村優太（日本学術振興会特別研究員 PD 東京大学）

飯島和樹（東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程）

マイケル・ギラン・ペキット（英国国立ハル大学名誉研究員）

ジョナサン・コール（英国プール病院臨床神経生理学医長）

水谷みつる（Necco 当事者研究会メンバー）

金 大煥（キムデファン）（韓国清州精神健康センター館長）

金 洛佑（キムラックウ）（韓国精神障害人自立生活センター）

文 景楠（ムンキョンナミ）（東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程）

トーマス・フックス（ハイデルベルク大学医学部精神科教授）

ハンネ・デ・イエーガー（バスク大学 IAS 研究センター研究員）

田中彰吾（東海大学総合教育センター准教授）